

歌川国芳展

作品リスト

愛知県美術館

[愛知芸術文化センター10階]

aomaa
aichi prefectural museum of art

AICHI ARTS CENTER

奇才絵師の魔力 UTAGAWA KUNIYOSHI

2026 4|24(金) ▶ 6|21(日)

前期 | 4月24日(金) - 5月24日(日)

後期 | 5月26日(火) - 6月21日(日)

主催 | 愛知県美術館、読売新聞社、中京テレビ放送

- ・出品作品は全て個人蔵です。
- ・会期中に展示替えがあります。■グレーの部分が展示期間です。
- ・愛知会場の各章の番号は、会場構成の都合により、図録の章番号とは異なります。
- ・作品No.は図録の作品番号と一致していますが、展示の順番とは異なります。本目録の作品掲載順は、概ね展示順となっています。
- ・作者が歌川国芳以外の絵師あるいは合作の場合は、作品名欄に作者名を記しています。
- ・作品名で「」を付した文言は、作品中の記載に従ったものです。
- ・都合により出品作品と展示期間は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

No.	作品名	判型・形状/材質技法/員数/寸法	年代	前期 後期
第一章 役者絵一名優奇優を描く				
112	三代目中村歌右衛門の鬼一、三代目尾上梅幸の牛若	大判二枚続	文化12年(1815)	
113	二代目関三十郎の鶴飼九十郎、三代目尾上菊五郎の玉屋新兵衛	大判	文政7年(1824)	
111	「春けしき王子詣 三枚続」	大判三枚続	文化12年(1815)頃	
114	五代目瀬川菊之丞の小金、三代目尾上菊五郎の彦惣	大判	文政7年(1824)	
116	「見立俳優八犬士」三代目尾上菊五郎の犬塚信乃、四代目中村歌右衛門の犬飼現八	大判二枚続	天保11年(1840)頃	
118	三代目関三十郎の小西是齋	大判	天保11年(1840)	
121	五代目市川海老蔵の毛剃九右衛門	大判	天保11年(1840)	
110	三代目坂東三津五郎の山かつ、三代目尾上菊五郎の金太郎	細判	文化12年(1815)	
124	四代目坂東彦三郎の神田川の与吉	大判	嘉永2年(1849)	
115	「芝神明宮境内にて六波羅観世音開帳参詣群集の図」	大判三枚続	天保6年(1835)	
120	三代目嵐吉三郎の佐藤政清	大判	天保11年(1840)	
122	四代目大谷友右衛門の安達元右衛門、三代目嵐璃寛の早瀬伊織	大判	嘉永7年(1854)	
123	「東都流行三十六会席 今戸 大工六三郎」	大判	嘉永5年(1852)	
119	四代目中村歌右衛門の浪花二郎作	大判	天保11年(1840)	
117	十二代目市村羽左衛門の春永	大判	天保11年(1840)	
妖怪変化の舞台演出				
140	東海道四谷怪談	大判二枚続	天保7年(1836)	
139	八代目市川團十郎の将門子息將軍太郎、初代坂東しうかの将門息女瀧夜刃姫、十二代目市村羽左衛門の大宅太郎光国	大判三枚続	嘉永2~4年(1849~51)頃	
138	四代目坂東彦三郎の左大臣道平の霊、八代目市川團十郎の仁木弁之助	大判二枚続	嘉永2年(1849)	
145	「相模国大山寺石尊宮朝山図」	大判三枚続	嘉永7年(1854)	
141	五拾三次之内 岡崎の場	大判三枚続	天保6年(1835)	
144	「五十三駅 岡崎」	横大判	弘化4年(1847)	
142	「昔ばなしの戯 猫又年をへて古寺に怪をなす図」	大判三枚続	弘化4年(1847)	
143	「日本駄右エ門猫之古事」	大判三枚続	弘化4年(1847)	
136	尾上梅寿一代噺	大判三枚続	弘化4年(1847)	
137	兎雷也豪傑譚語	大判三枚続	嘉永5年(1852)	
団扇絵				
125	「当国三ツの狩 ほたるかり」	団扇絵判	弘化4~嘉永元年(1847~48)	
126	「当国三ツの狩 川かり」	団扇絵判	弘化4~嘉永元年(1847~48)	
127	「当国三ツの狩 葺かり」	団扇絵判	弘化4~嘉永元年(1847~48)	
128	「夏の夜げしき」三代目岩井桑三郎	団扇絵判	嘉永5年(1852)	
129	「夏の夜げしき」八代目市川團十郎	団扇絵判	嘉永5年(1852)	
130	初代坂東しうかの虎蔵実八牛若丸	団扇絵判	弘化4~嘉永3年(1847~50)	
131	五代目沢村長十郎の足利光氏	団扇絵判	嘉永2~5年(1849~52)	
132	初代坂東しうかの足利光氏	団扇絵判	嘉永2~5年(1849~52)	
133	十二代目市村羽左衛門の足利光氏	団扇絵判	嘉永2~5年(1849~52)	
134	初代坂東しうかの三浦屋揚巻	団扇絵判	嘉永3年(1851)頃	
135	八代目市川團十郎の揚巻ノ助六	団扇絵判	嘉永3年(1851)頃	

第二章 武者絵・説話―躍動する奇傑

水滸伝

17	「通俗水滸伝豪傑百八人一個 旱地忽律朱貴」	大判	文政11~12年(1828~29)頃	
18	「通俗水滸伝豪傑百八人之吉人 浪裡白跳張順」	大判	文政11~12年(1828~29)頃	
19	「通俗水滸伝豪傑百八人之吉人 短冥次郎阮小吾」	大判	文政11~12年(1828~29)頃	
23	「通俗水滸伝豪傑百八人一個 活閻羅阮小七」	大判	文政10~天保元年(1827~30)頃	
25	「通俗水滸伝豪傑百八人一個 赤髮鬼劉唐、玉麒麟盧俊義、樸天鷗李應 設遮欄穆弘」	大判三枚続	天保元~2年(1830~31)頃	
26	「通俗水滸伝豪傑百八人一個 白花蛇楊春、神機軍師朱武、九紋龍史進、跳淵虎陳達」	大判三枚続	天保元~2年(1830~31)頃	
22	「通俗水滸伝豪傑百八人一個 鼓上蚤時遷」	大判	文政11~12年(1828~29)頃	
24	「通俗水滸伝豪傑百八人一個 智多星吳用」	大判	文政10年(1827)頃	
21	「通俗水滸伝豪傑百八人一人 花和尚魯知深 初名魯達」	大判	文政10年(1827)頃	
20	「通俗水滸伝豪傑百八人一個 船火児張横」	大判	文政11~12年(1828~29)頃	
29	「本朝水滸伝剛勇八百人一個 下瀬加賀」	大判	天保2年(1831)頃	
31	「本朝水滸伝剛勇八百人一個 鷺池平九郎」	大判	天保4~6年(1833~35)頃	
34	「本朝水滸伝剛勇八百人一個 渡辺源二綱」	大判	天保7年(1836)頃	
35	「本朝水滸伝豪傑八百人一個 天眼礮兵衛」	大判	天保2年(1831)頃	
27	「本朝水滸伝豪傑八百人一個 早川鮎之助」	大判	天保2年(1831)頃	
28	「本朝水滸伝剛勇八百人一個 土喜大四郎元貞」	大判	天保4~6年(1833~35)頃	
32	「本朝水滸伝剛勇八百人一個 宮本無三四」	大判	天保4~6年(1833~35)頃	
33	「本朝水滸伝剛勇八百人一個 岩沼吉六郎信里」	大判	天保4~6年(1833~35)頃	
30	「本朝水滸伝剛勇八百人一個 犬江親兵衛仁」	大判	天保7年(1836)頃	

源頼光と四天王

3	源頼光と四天王に襲いかかる土蜘蛛	大判三枚続	文政(1818~30)初期	
10	「源頼光」	大判	文政12~天保2年(1829~31)頃	
2	「源頼光」	大判二枚続	文化13年(1816)頃	
39	「坂田怪童丸」	大判	天保7年(1836)頃	
42	「源頼光公館土蜘蛛妖怪図」	大判三枚続	天保13~14年(1842~43)	
74	大江山酒呑童子	大判三枚続	嘉永4年(1851)	
87	酒田公時、碓井貞光、源次綱と妖怪	大判三枚続	文久元年(1861)	

源平合戦

90	「真勇競 平知盛」	長大判	安政3年(1856)	
4	平知盛亡霊の図	大判三枚続	文政元~3年(1818~20)頃	
37	「真田与一義貞 俣野五郎景久」	大判	天保14~弘化元年(1843~44)頃	
41	「真田与市能久 俣野五郎景久」	大判三枚続	天保6年(1835)頃	
69	大物浦平家の亡霊	大判三枚続	嘉永2~4年(1849~51)頃	
9	「宇治川合戦之図」	大判三枚続	天保2~3年(1831~32)頃	
8	「清盛入道布引滝遊覧 悪源太義平靈討難波次郎」	大判三枚続	天保元年(1830)頃	
14	「佐々木三郎盛綱」	大判	文政10年(1827)頃	
36	「平惟茂」	大判	天保4~6年(1833~35)頃	
45	「大日本六十余州之内 対馬 新中納言知盛」	大判	弘化2年(1845)頃	
46	「本朝武優鏡 平知盛」	大判	弘化2年(1845)頃	

義経伝説

50	「鬼若丸」	大判	弘化4~嘉永3年(1847~50)	
66	「弁慶が勇力戯に三井寺の梵鐘を叡山へ引揚る図」	大判三枚続	弘化2~3年(1845~46)頃	
7	「洛陽五條橋之図」	大判二枚続	天保元年(1830)頃	
72	五條橋の戦いにおいて八天狗に助けられる牛若丸	大判三枚続	嘉永3年(1850)	
63	鬼若丸の鯉退治	大判三枚続	弘化2年(1845)頃	
51	「西塔鬼若丸」	大判	弘化2年(1845)頃	
62	「美盾八競 神崎秋月」樋口次郎兼光	大判三枚続	弘化3年(1846)	
12	「樋口治郎」	大判	文政9~10年(1826~27)頃	
73	「源牛若丸僧正坊二隋武術を覚図」	大判三枚続	嘉永4年(1851)	
88	「真勇競 弁慶」	長大判	弘化2~3年(1845~46)頃	
60	「堀川夜討土佐坊昌俊遠寄之図」	大判三枚続	弘化元~2年(1844~45)頃	
78	「義経功臣 四天王出世鑑之内 亀井六郎」	大判三枚続	嘉永2年(1849)	
84	「和田合戦 朝比奈三郎義秀猛勇怪力之図」	大判三枚続	安政4年(1857)	
86	「赤沢山大相撲」	大判三枚続	安政5年(1858)	

No.	作品名	判型・形状/材質技法/員数/寸法	年代	前期 後期
川中島合戦				
13	「武田勝千代丸」	大判	文政10年(1827)頃	
82	「信州小田井合戦図」	大判三枚続	嘉永3~4年(1850~51)	
83	「甲越川中島大合戦」	大判三枚続	嘉永5年(1852)	
81	「川中嶋大合戦」	大判三枚続	安政元年(1854)	
57	「武田大膳大夫晴信入道信玄」	大判竪二枚続	弘化2年(1845)頃	
58	「上杉弾正大弼輝虎入道謙信」	大判竪二枚続	弘化2年(1845)頃	
85	「川中嶋合戦」	大判三枚続	安政2年(1855)	
「忠臣蔵」の義士たち				
366	『東南海陸紀行』(ニューホフ著)	洋書/一冊	1682年	
54	「誠忠義士肖像 潮田政之丞高教」	大判	嘉永5年(1852)	
55	「誠忠義士肖像 箭田五郎左工門助武」	大判	嘉永5年(1852)	
56	「誠忠義士肖像 中村勘助正辰」	大判	嘉永5年(1852)	
52	「誠忠義士伝 富守祐右衛門正固」	大判	弘化4年(1847)	
6	「忠臣蔵十一段目 両国橋勢揃図」	大判三枚続	文政10年(1827)頃	
荒ぶるヒーローズ				
5	三井寺合戦 新田四天王勇力	大判三枚続	文政3~6年(1820~23)頃	
1	「曾我箱王丸」	大判	文化13年(1816)頃	
77	「里見八犬伝 犬塚信乃、犬飼現八」	大判二枚続	嘉永2~3年(1849~50)	
80	四条縄手の戦い	大判六枚続	安政4年(1857)	
79	「楠家勇士四条縄手にて討死」	大判三枚続	嘉永4年(1851)	
38	「出雲伊鷹」	大判	天保4~6年(1833~35)頃	
11	「天竺徳兵衛」	大判	文政9~10年(1826~27)頃	
16	「魔津伊多見治郎」	大判	文政9~10年(1826~27)頃	
15	「美家本武蔵」	大判	文政9~10年(1826~27)頃	
89	「列猛伝 宮本武三四」	長大判	弘化2~3年(1845~46)頃	
61	「美盾八競 晴嵐」宮本無三四	大判三枚続	弘化2~3年(1845~46)頃	
53	「太平記英勇伝 織尾茂助安春」	大判	嘉永元~2年(1848~49)	
70	「稲葉山中におみて荒猪を生捕たる強勇を大将の目にとり臣下とす」	大判三枚続	嘉永元~3年(1848~50)頃	
68	豊前国与次兵衛灘	大判三枚続	嘉永3年(1850)	
47	「国芳もやう正札附現金男 野晒悟助」	大判	弘化2年(1845)頃	
48	「国芳もやう正札附現金男 唐犬権兵衛」	大判	弘化2年(1845)頃	
49	「国芳模様正札附現金男 団七九郎兵衛」	大判	弘化2年(1845)頃	
59	蝦蟇仙人と相馬太郎良門	大判三枚続	弘化2~3年(1845~46)頃	
96	「六様性国芳自慢 先負 文覚上人」	大判	万延元年(1860)	
95	「六様性国芳自慢 大安 怪童丸」	大判	万延元年(1860)	
40	「金太郎鬼ヶ嶋遊」	大判	天保13年(1842)頃	
91	「列猛伝 足柄金太郎」	長大判	安政3年(1856)	
圧倒的!ワイドスクリーン				
64	宮本武蔵の鯨退治	大判三枚続	弘化4年(1847)頃	
65	相馬の古内裏	大判三枚続	弘化2~3年(1845~46)頃	
76	文覚上人那智の滝荒行	大判竪三枚続	嘉永4年(1851)頃	
75	「吉野山合戦」	大判竪三枚続	嘉永4年(1851)頃	
100	「龍宮玉取姫之図」	大判三枚続	嘉永6年(1853)	
67	「讃岐院眷属をして為朝をすくふ図」	大判三枚続	嘉永4年(1851)	
人智を超越した力				
43	「那伽犀那尊者」	大判	天保7年(1836)頃	
44	「頼豪阿闍梨 大江匡房卿」	大判	天保14年(1843)頃	
102	「和漢準源氏 玉かつら 武内宿祢得干珠満珠」	大判	安政2年(1855)	
103	「和漢準源氏 蓬生 桃太郎」	大判	安政2年(1855)	
98	「百人一首之内 大納言経信」	大判	天保13年(1842)頃	
97	「百人一首之内 崇徳院」	大判	天保13年(1842)頃	
71	「江州坂本入江の浪士白狐にたぶらかさるゝ図」	大判三枚続	嘉永2年(1849)	
105	「高祖御一代略図 佐州塚原雪中」	横大判	天保6年(1835)頃	
104	「高祖御一代略図 佐州流刑角田波題目」	横大判	天保6年(1835)頃	
106	「二十四孝童子鑑 大舜」	横大判	天保14~弘化元年(1843~44)頃	
107	「木曾街道六十九次之内 六十八 守山 達磨大師」	大判	嘉永5年(1852)	

No.	作品名	判型・形状/材質技法/員数/寸法	年代	前期 後期
101	「龍宮城 田原藤太秀郷に三種の土産を贈」	大判三枚続	安政5年(1858)	
99	玉取り	大判三枚続	弘化4年(1847)頃	
92	「本朝武者鏡 天竺徳兵衛 がま仙人」	大判	安政2年(1855)	
94	「本朝武者鏡 怪童丸」	大判	安政2年(1855)	
93	「本朝武者鏡 橋姫」	大判	安政2年(1855)	
108	「周易八卦絵 震雷」	大判	天保10~12年(1839~41)頃	
109	「周易八卦絵 巽風」	大判	天保10~12年(1839~41)頃	

第三章 風景—新奇の構図

216	「東都名所 佃嶋」	横大判	天保3~4年(1832~33)頃	
217	「東都名所 かすみが関」	横大判	天保3~4年(1832~33)頃	
218	「東都名所 てつぼふづ」	横大判	天保3~4年(1832~33)頃	
232	「東都富士見三十六景 新大はし橋下の眺望」	横大判	天保14年(1843)頃	
233	「東都富士見三十六景 昌平坂の遠景」	横大判	天保14年(1843)頃	
231	「東都富士見三十六景 山王神事雪解の富士」	横大判	天保14年(1843)頃	
222	「東都御厩川岸之図」	横大判	天保2~3年(1831~32)頃	
224	「東都橋場之図」	横大判	天保2~3年(1831~32)頃	
223	「東都首尾の松之図」	横大判	天保2~3年(1831~32)頃	
227	「本朝名橋之内 江都日本橋略図」	大判三枚続	天保7~9年(1836~38)頃	
226	「東都三ッ股の図」	横大判	天保2~3年(1831~32)頃	
225	「東都宮戸川之図」	横大判	天保2~3年(1831~32)頃	
215	「近江の国の勇婦於兼」	横大判	天保2~3年(1831~32)頃	
214	「忠臣蔵十一段目夜討之図」	横大判	天保2~3年(1831~32)頃	
366	『東西海陸紀行』(ニューホフ著)	洋書/一冊	1682年	
234	「東海道五拾三次人物誌 平塚」	横大判	嘉永2年(1849)頃	
229	「相州大山道田村渡の景」	横大判	天保13年(1842)頃	
228	「大山良弁瀧之図」	横大判	天保13年(1842)頃	
230	「大山石尊大瀧之図」	横大判	天保13年(1842)頃	
221	「東都名所 新吉原」	横大判	天保3~4年(1832~33)頃	
219	「東都名所 両国柳ばし」	横大判	天保3~4年(1832~33)頃	
220	「東都名所 両国の涼」	横大判	天保3~4年(1832~33)頃	
235	「相州江之嶋之図」	大判三枚続	嘉永2~4年(1849~51)	
236	「相模州大住郡雨降大山全図」	大判三枚続	嘉永2~4年(1849~51)頃	
212	「山海名産尽 伊勢鯉」	大判	天保(1830~44)初期頃	
213	「山海名産尽 相模ノ堅魚」	大判	天保(1830~44)初期頃	

第四章 風俗・情報・資料—広がる奇想

339	「子供あそびのうち 川がり」	横大判	天保12~13年(1841~42)頃	
340	「新板子供遊びの内 雪あそび」	横大判	天保12~13年(1841~42)頃	
341	高輪大木戸の大山講と富士講	大判三枚続	天保(1830~44)前期頃	
347	「鬼若力之助」	大判	嘉永3年(1850)	
348	「鬼若力之助」	横大判	嘉永3年(1850)	
345	「風流角力数面」	大判	天保(1830~44)後期頃	
346	「生月鯨太左工門」	大判	天保15年(1844)	
349	「上総国武射郡戸田村産 勝の浦門人 鬼若力之助」	大判	嘉永3年(1850)	
344	「火用心」	大判	嘉永4年(1851)	
360	為朝と疱瘡神	大判二枚続	嘉永4年(1851)頃	
361	「鍾馗散 邪鬼に即功」	大判二枚続	安政5年(1858)	
338	疱瘡絵 鍾馗	大判	天保7年(1836)頃	
355	浅茅ヶ原一ツ家の図	長判	安政5年(1858)	
354	「風流人形」	中判三枚続	安政3年(1856)	
350	「林屋正蔵工夫の怪談 百物語化物屋敷の図」	横大判	天保10~12年(1839~41)頃	
357	「石橋 早竹虎吉」	大判	安政4年(1857)	
358	「当世人形つくしの内 不動明王 祐天」	大判	安政3年(1856)	
359	「てるてる坊主おひよりおどり」	大判	嘉永2年(1849)	
352	竹沢藤次曲独楽 お岩稻荷	横大判	天保15年(1844)	
353	「竹沢藤治 三曲うかれの大独楽大仕かけ」	団扇絵判	嘉永2年(1849)	

No.	作品名	判型・形状/材質技法/員数/寸法	年代	前期 後期
351	竹沢藤次曲独楽 九尾の狐三国渡	横大判	天保15年(1844)	
356	「浅草奥山生人形」	大判二枚続	安政2年(1855)	
342	「大漁鯨のにぎわひ」	大判三枚続	嘉永4年(1851)	
343	「七浦大漁繁昌之図」	大判三枚続	嘉永6年(1853)	
363	月夜の盗賊・獅子舞・「箱根湖上之不二」(歌川国芳・歌川国貞・歌川広重画)	大判	安政5年(1858)	
364	国芳死絵(落合芳幾画)	大判	文久元年(1861)	
362	宝船(歌川国貞・溪斎英泉・歌川国芳画)	大判三枚続	天保(1830~44)末期頃	
365	国芳死絵(歌川芳富画)	大判	文久元年(1861)	
375	「庭前美撰花」版下絵	紙本墨画淡彩/37.8×25.5 cm	安政元年(1854)	
374	花見の御女中 版下絵	紙本墨画淡彩/37.7×25.8 cm	安政元年(1854)頃	
373	「雲龍久吉」版下絵	紙本墨画淡彩/38.1×26.1 cm	安政3年(1856)	
372	「浄瑠璃尽 神靈矢口渡」下絵	紙本墨画/25.4×38.9 cm	天保(1830~44)後期頃	
371	八代目市川團十郎の神谷仁右衛門、四代目市川小団次の於岩のぼうこん	大判	嘉永元年(1848)	
369	八代目市川團十郎の神谷仁右衛門、四代目市川小団次の於岩のぼうこん 板木	一枚/39.0×26.4×0.8 cm	嘉永元年(1848)	
370	八代目市川團十郎の神谷仁右衛門、四代目市川小団次の於岩のぼうこん 新摺品	大判	現代	
367	「みかけハコハみがとんだいゝ人だ」板木	一枚/39.7×26.9×1.6 cm	弘化4年(1847)頃	
368	「みかけハコハみがとんだいゝ人だ」新摺品	大判	現代	
376	書簡	紙本墨書/一紙/16.3×91.2 cm	(年不明)6月27日	

第五章 摺物と動物画—こだわりの奇品

256	八代目市川團十郎追悼摺物(歌川国芳・三代歌川豊国合筆)	長判摺物/20.4×53.6 cm	嘉永7年(1854)	
255	瓢箪に画帖(歌川国芳・柴田是真合筆)	全紙判摺物/37.5×53.1 cm	嘉永2年(1849)	
254	「東西大関併優」(歌川国芳・三代歌川豊国・梅素亭玄魚合筆)	全紙判摺物/42.2×56.1 cm	嘉永3年(1850)	
237	「下総野田柏樹園 立春」	色紙判摺物/21.1×18.0 cm	文政10~12年(1827~29)頃	
242	捕手をとりひしく七代目市川團十郎	色紙判摺物/21.0×18.4 cm	文政10~11年(1827~28)頃	
252	八代目市川團十郎の暫	色紙判摺物/21.4×18.7 cm	天保3年(1832)	
253	大筒を抱える四代目中村歌右衛門	色紙判摺物/18.6×22.2 cm	弘化2~3年(1845~46)頃	
247	豊干と虎	色紙判摺物/20.6×17.7 cm	文政13年(1830)	
238	「平戸 緋緘力弥」	色紙判摺物/21.2×18.2 cm	文政(1818~30)末期~天保(1830~44)初期	
249	栈橋の芸者	色紙判摺物/二枚続/各21.0×18.2 cm	天保7年(1836)頃	
248	修紫田舎源氏	色紙判摺物/二図/各20.4×17.6 cm	天保7年(1836)頃	
245	「汐干五番内 其一~其五」	色紙判摺物/五枚続/各20.8×18.0 cm	文政12年(1829)頃	
246	「風俗女水滸伝」土器投げ	色紙判摺物/21.3×18.3 cm	文政11年(1828)頃	
244	「風俗女水滸伝 壹百八人ノ内 訖小二 汐汲五番続 其三」	色紙判摺物/20.7×17.2 cm	文政10~11年(1827~28)頃	
239	撫で牛	色紙判蔵旦摺物/21.7×17.9 cm	文政12年(1829)	
250	花魁	扇面形摺物/径 17.2×幅 48.8 cm	弘化(1844~48)中期~嘉永(1848~54)中期頃	
251	花車 五節句賛	全紙判摺物/41.7×56.1 cm	天保8年(1837)頃	
243	床の間の琴	色紙判摺物/21.0×18.3 cm	文政10~11年(1827~28)頃	
241	不二五番之内 奇岩	色紙判摺物/20.7×18.4 cm	文政(1818~30)末期~天保(1830~44)初期頃	
240	不二五番之内 江の島	色紙判摺物/21.3×18.3 cm	文政(1818~30)末期~天保(1830~44)初期頃	
269	鯉の滝のぼり	大判縦二枚続	弘化2~3年(1845-46)	
271	竹に虎	大判縦二枚続	天保13年(1842)頃	
270	雲龍図	大判縦二枚続	天保13年(1842)頃	
259	龍図	大判	天保2~3年(1831~32)頃	
261	「禽獣図絵 龍虎」	大判	天保10~12年(1839~41)頃	
258	双龍図	大判	天保2~3年(1831~32)頃	
260	応龍	大判	天保2~3年(1831~32)頃	
257	「鼠よけの猫」	大判	天保13年(1842)頃	
262	「禽獣図絵 獅子」	大判	天保10~12年(1839~41)頃	
264	魚づくし ふぐに赤えい・金魚に目高	中短冊判二丁掛	天保13年(1842)頃	
265	魚づくし 岩に取りつく蛸・杭に寄る鮒	中短冊判二丁掛	天保13年(1842)頃	
263	魚づくし なまず・真鯉	中短冊判二丁掛	天保13年(1842)頃	
267	魚づくし 蟹と亀	中短冊判	天保13年(1842)頃	
266	魚づくし 金魚に目高	中短冊判	天保13年(1842)頃	
268	魚づくし えびざこ	中短冊判	天保13年(1842)頃	

第六章 美人画一粋と奇麗

148	芸者	大判	天保(1830~44)前期	
149	花魁	大判	天保(1830~44)前期	
150	囲い女	大判	天保(1830~44)前期	
151	贅子	大判	天保(1830~44)前期	
146	雪月花 月	大判	文政7年(1824)頃	
175	「忠孝名誉奇人伝 兼女」	大判	弘化2~3年(1845~46)頃	
177	「艶姿十六女仙 豊干禅師」	大判	弘化4~嘉永元年(1847~48)	
147	雪中傘持つ娘	大判三枚続	天保元~3年(1830~32)頃	
164	「子供諸芸妓方」常磐津	団扇絵判	天保13年(1842)	
168	手すりにもたれる遊女	団扇絵判	天保13年(1842)頃	
156	「春の虹蛭」	団扇絵判	天保7年(1836)	
157	「渚の珠」	団扇絵判	天保7年(1836)頃	
207	「梅の魁」	大判三枚続	嘉永元~3年(1848~50)頃	
208	「暑中の夕立」	大判三枚続	嘉永2~4年(1849~51)	
152	「当盛江戸鹿子 三めぐり」	大判	天保4~6年(1833~35)頃	
184	「東都風景高輪虹蛭」	大判三枚続	弘化2~3年(1845~46)頃	
166	「五行之内 西瓜の水性」	団扇絵判	天保14~弘化元年(1843~44)頃	
165	「五行之内 針の金性」	団扇絵判	天保14~弘化元年(1843~44)頃	
167	「新良万造」爪切り	団扇絵判	天保14~弘化元年(1843~44)頃	
176	「忠孝名誉奇人伝 梶女」	大判	弘化元~3年(1844~46)頃	
190	「隅田川之朝霧」	大判三枚続	嘉永元~4年(1848~51)頃	
210	「見立五行 火 かがり火」	大判三枚続	弘化4~嘉永5年(1847~52)頃	
209	「見立五行 土 とこなつ」	大判三枚続	弘化4~嘉永5年(1847~52)頃	
194	「浮夜八会」大森の駕籠	団扇絵判	弘化4~嘉永3年(1847~50)	
201	「東都三大橋の内 大川橋」	団扇絵判	嘉永6年(1853)	
200	「今様六夏撰 土用見舞」	団扇絵判	嘉永6年(1853)	
198	「今様六夏撰 蚊帳」	団扇絵判	嘉永6年(1853)	
199	「今様六夏撰 昼寝」	団扇絵判	嘉永6年(1853)	
192	「東都東叡山の図」	大判三枚続	弘化4~嘉永元年(1847~1848)頃	
193	「当盛今戸の夜ざしき」	大判三枚続	弘化4~嘉永元年(1847~1848)頃	
206	「山海めてたいづゑ 十九 はやくきめたい 播州高砂蛸」	大判	嘉永5年(1852)	
204	「山海愛度図会 七 ヲいいたい 越中滑川大蛸」	大判	嘉永5年(1852)	
205	「目出度図絵 六十八 どふぞよさせたい 壱岐くじら」	大判	嘉永5年(1852)	
160	美人子供十二ヶ月シリーズ 「清月の月」	大判	天保7~8年(1836~37)頃	
159	美人子供十二ヶ月シリーズ 「文月の七夕」	大判	天保7~8年(1836~37)頃	
158	美人子供十二ヶ月シリーズ 「臯月川開 両国ばし」	大判	天保7~8年(1836~37)頃	
187	「夜の桜」	大判三枚続	弘化期(1844~48)	
188	「八町つづみ夜のけい」	大判三枚続	弘化2~3年(1845~46)頃	
162	「夏げしき昼夜どけい 夜四つ時」	団扇絵判	弘化元年(1844)頃	
163	「夏げしき昼夜どけい ひる七つ時」	団扇絵判	弘化元年(1844)頃	
178	「絵兄弟やさすかた」鶴退治	大判	弘化2~3年(1845~46)頃	
185	「駒形の朝霧」	大判三枚続	弘化3年(1846)頃	
186	「四季遊観 納涼のほたる」	大判三枚続	弘化2~3年(1845~46)頃	
174	「こころの辻うら」	団扇絵判	弘化2~3年(1845~46)頃	
170	鏡面シリーズ 元結	団扇絵判	弘化2年(1845)頃	
171	鏡面シリーズ 猫と遊ぶ娘	団扇絵判	弘化2年(1845)頃	
169	鏡面シリーズ 櫛持つ美人	団扇絵判	弘化2年(1845)頃	
211	夜の縁側	大判三枚続	嘉永4年(1851)頃	
191	「三ツの猿夜の賑ひ」	大判三枚続	弘化4~嘉永元年(1847~48)	
172	「名酒揃」松緑	団扇絵判	弘化2~3年(1845~46)頃	
173	「名酒揃」笹の丸	団扇絵判	弘化2~3年(1845~46)頃	
179	「風流六花撰」	大判	天保14年(1843)頃	
196	「いまよう七婦喜人 ふくろく」	団扇絵判	嘉永2~5年(1849~52)	
202	「高名松つくし」	団扇絵判	安政元年(1854)	
197	「艶曲揃」山帰強桔梗	団扇絵判	嘉永6年(1853)	

No.	作品名	判型・形状/材質技法/員数/寸法	年代	前期 後期
189	「屠蘇機嫌三人生酔」	大判三枚続	弘化3年(1846)	
155	「当世三婦苦対」遊女	団扇絵判	天保4年(1833)	
154	「当世三婦苦対」湯帰り	団扇絵判	天保4年(1833)	
203	「六景色 浅草寺のゆき」	団扇絵判	安政元年(1854)	
181	「大願成就有ヶ滝瀧」箱根山玉簾の滝	大判	弘化2~3年(1845~46)頃	
180	「大願成就有ヶ滝瀧」金太郎鯉つかみ	大判	弘化2~3年(1845~46)頃	
153	「松葉屋内代々山 中万字屋内ハッ橋 扇屋内花扇」	大判三枚続	天保4年(1833)頃	
182	「夜参り八景 一ツ目」	大判	弘化2~3年(1845~46)頃	
183	「夜参り八景 四日市」	大判	弘化2~3年(1845~46)頃	
195	「美立吼噓」	団扇絵判	嘉永2年(1849)	
161	船橋屋前	大判三枚続	天保(1830~44)後期	

第七章 肉筆—奇才の筆

379	七代目岩井半四郎の三浦屋の揚巻	紙本着色/一幅/35.5 × 30.5 cm	天保15~弘化2年(1844~45)	
378	煙草を吸う女、反物を持つ女	紙本着色/一幅/各20.6 × 19.0 cm	天保(1830~44)前期	
394	夏衣美人図	絹本着色/一幅/83.3 × 31.8 cm	弘化・嘉永期(1844~54)	
395	浴衣を抱える美人	絹本着色/一幅/96.9 × 32.4 cm	弘化・嘉永期(1844~54)	
396	遊女図	絹本着色/一幅/88.0 × 29.6 cm	弘化・嘉永期(1844~54)	
397	遊女道中図	絹本着色/一幅/97.0 × 33.4 cm	弘化・嘉永期(1844~54)	
398	遊女図	絹本着色/一幅/99.0 × 31.9 cm	弘化・嘉永期(1844~54)	
399	立美人図	絹本着色/一幅/74.8 × 28.6 cm	弘化・嘉永期(1844~54)	
400	白拍子静図	絹本着色/一幅/95.3 × 35.3 cm	弘化・嘉永期(1844~54)	
401	神功皇后図	絹本着色/一幅/45.5 × 30.3 cm	嘉永期(1848~54)頃	
402	遊女地獄図	紙本淡彩/一幅/18.5 × 18.9 cm	天保(1830~44)末期頃	
380	五代目市川海老蔵の暫	紙本淡彩/一幅/28.2 × 29.9 cm	天保13~弘化元年(1842~44)頃	
381	十返舎一九肖像	紙本淡彩/一幅/78.0 × 30.7 cm	天保2~3年(1831~32)頃	
382	八代目市川團十郎の死絵	(上)紙本墨画・(下)絹本着色/一幅/ (上)56.7 × 31.7 cm・(下)43.5 × 31.7 cm	嘉永7年(1854)頃	
392	忠臣蔵五十三次 四日市・桑名	絹本着色/一幅/95.5 × 68.7 cm	嘉永3~4年(1850~51)頃	
393	忠臣蔵五十三次 興津・由井	絹本着色/一幅/106.8 × 69.7 cm	嘉永3~4年(1850~51)頃	
377	万歳図	絹本淡彩/一幅/69.5 × 33.0 cm	文政(1818~30)末期~天保(1830~44)初期頃	
383	鳶奴	紙本淡彩/一幅/31.8 × 57.3 cm	天保7年(1836)	
385	鶏、烏天狗と怪童丸	紙本淡彩/一幅/26.7 × 29.9 cm	天保(1830~44)前期頃	
386	大黒天図	紙本墨画/一幅/43.6 × 56.0 cm	嘉永5年(1852)	
387	三人上戸図	紙本淡彩/一幅/86.5 × 28.7 cm	弘化・嘉永期(1844~54)	
388	鍾馗図	絹本墨画/一幅/45.4 × 29.3 cm	安政期(1854~60)頃	
389	水を呑む大蛇	絹本淡彩/一幅/110.9 × 48.6 cm	弘化・嘉永期(1844~54)	
391	東海道中膝栗毛三島宿図	絹本着色/二曲一隻/64.7 × 111.0 cm	弘化・嘉永期(1844~54)	
384	豆まき	紙本墨画/一面/径 15.2 × 幅 47.1 cm	天保(1830~44)中期頃	
390	浅茅ヶ原一ツ家の図	絹本着色/一面/32.1 × 37.5 cm	安政期(1854~60)頃	

第八章 戯画—奇想天外なユーモア

284	「流行猫の曲手まり」	大判	天保12年(1841)	
285	「流行猫の狂言づくし」団七九郎兵衛ほか	大判	天保12~13年(1841~42)頃	
287	「流行猫の狂言づくし」熊ヶ谷次郎直実ほか	大判	天保12~13年(1841~42)頃	
286	「流行猫の狂言づくし」いがみのごん太ほか	大判	天保12~13年(1841~42)頃	
296	「流行猫の変化」	大判	天保12~13年(1841~42)頃	
336	「其まゝ地口 猫飼好五十三疋」	大判三枚続	嘉永元年(1848)頃	
303	「狸ト狐の遊」	団扇絵判	天保13年(1842)頃	
309	かちかち山	団扇絵判	弘化2~3年(1845~46)頃	
291	「猫の曲まり」	団扇絵判	天保12年(1841)	
320	「猫のおどり」	団扇絵判	天保12年(1841)頃	
280	「道外狐へん化のけいこ」	横大判	天保13年(1842)頃	
304	「諸鳥やすうりづくし」	団扇絵判	天保13年(1842)頃	
305	「雀の百狂 鳥さし」	団扇絵判	弘化元年(1844)頃	
337	「たとゑ尽の内」	大判三枚続	嘉永5年(1852)	
281	「道外獣の雨やどり」	横大判	天保13年(1842)頃	

No.	作品名	判型・形状/材質技法/員数/寸法	年代	前期 後期
310	駕籠かきの玩具	団扇絵判	弘化元年(1884)頃	
334	「里すゝめねぐらの仮宿」	大判三枚続	弘化3年(1846)	
274	「かゑるづくし」	大判	天保13年(1842)頃	
335	「龍宮遊さかなげいづくし」	大判三枚続	弘化4年(1847)頃	
276	「金魚づくし いかだのり」	中判	天保13年(1842)頃	
273	「百亀家久 かるわざ・四天王の見立」	中判二丁掛	天保13年(1842)頃	
277	一頭多体図	大判	天保10～13年(1839～42)頃	
278	「欠留人物更紗 十四人のからだにて三十五人にミゆる」	横大判	天保13年(1842)頃	
289	猫の源氏 賢木	団扇絵判	天保13年(1842)頃	
290	くつろぐ夏の猫美人たち	団扇絵判	天保13年(1842)頃	
272	「化物忠臣蔵」	大判三枚続	天保10～13年(1839～42)頃	
293	猫のお万が飴	団扇絵判	天保12～13年(1841～42)頃	
292	「二面籠猫絵」	団扇絵判	天保12～13年(1841～42)頃	
294	「猫の左仮」	団扇絵判	弘化3年(1846)	
295	「おぼろ月猫の盛」	団扇絵判	弘化3年(1846)	
321	「流行猫のおも入」	大判	天保12～13年(1841～42)頃	
317	「猫の百面相」荒獅子男之助ほか	団扇絵判	天保12年(1841)頃	
318	「猫の百面相」忠臣蔵	団扇絵判	天保12年(1841)頃	
319	「似たか金魚」	団扇絵判	天保13年(1842)頃	
316	「魚の心」	大判	天保13年(1842)頃	
333	「古猫妙術説」	大判	弘化4～嘉永3年(1847～50)	
322	「流行猫の戯 梅が枝無間の真似」	大判	弘化4年(1847)頃	
323	「流行猫の戯 道行 猫柳淫月影」	大判	弘化4年(1847)頃	
324	「白面笑壁のむだ書」	大判三枚組	嘉永元年(1848)頃	
325	「当ル奉納願お買久面」	大判三枚続	嘉永元年(1848)頃	
288	「猫の当字」ふぐ	大判	天保13年(1842)頃	
275	「きん魚づくし ぼんぼん」	中判	天保13年(1842)頃	
326	「みかけハこハみがとんだいゝ人だ」	大判	弘化4年(1847)頃	
327	「人かたまつて人になる」	大判	弘化4年(1847)頃	
328	「としよりのよふな若い人だ」	大判	弘化4年(1847)頃	
329	「人をばかにした人だ」	大判	弘化4年(1847)頃	
301	「道外化粧のたわむれ 花火」	団扇絵判	弘化元～3年(1844～46)頃	
300	「道外化粧のたわむれ 大森」	団扇絵判	弘化元～3年(1844～46)頃	
308	嵌め絵 こま	団扇絵判	弘化元年(1844)	
307	「こまの竹沢藤治のきゝもの たるまはし」	団扇絵判	弘化元年(1844)	
306	「しんぼふくらべ こゝろの竹沢」	団扇絵判	弘化元年(1844)	
279	「道外化もの夕涼」	横大判	天保13年(1842)頃	
282	「道外化もの百物がたり」	横大判	天保13年(1842)頃	
283	「流行うきよひやうたん へうたんからこま・へうたんなまづ・花見のすいづゝ」	団扇絵判	弘化元～3年(1844～46)頃	
302	「流行うきよひやうたん もんがくひやうたん・せいだかやうたん・こんがらひやうたん」	団扇絵判	弘化元～3年(1844～46)頃	
312	「流行達磨遊び」蕎麦・首引き	横大判	天保10～13年(1839～42)頃	
311	「流行達磨遊び」手が出る足が出る	横大判	天保10～13年(1839～42)頃	
330	「其面影程能写絵 おかづり」/「ゑびにあかがひ」	大判二枚組	嘉永元年(1848)頃	
331	「其面影程能写絵 獵人にたぬき」/「金魚にひごいっ子」	大判二枚組	嘉永元年(1848)頃	
332	「其面影程能写絵 弁けい」/「たいこもち」	大判二枚組	嘉永元年(1848)頃	
298	「絵鏡台合かゝ身」三福神/へび・かへる・まいまつぶり	団扇絵判二枚組	天保13年(1842)頃	
299	「絵鏡台合かゝ身」猫/しし・みみづく・はんにやあめん	団扇絵判二枚組	天保13年(1842)頃	
297	「絵鏡台合かゝ身」牛若丸・弁慶/かふり・おにがはら	団扇絵判二枚組	天保13年(1842)頃	
313	「朝比奈三郎義秀小人じま遊」	大判	弘化4年(1847)	
314	「朝比奈義秀小人遊」	大判	弘化4年(1847)	
315	「朝比奈小人嶋遊」	大判三枚続	弘化4年(1847)	